

人道支援におけるイノベーション： なぜ必要か、誰のためか

紛争や自然災害に対する人道支援は、イノベーションを促進することで進化を続けています。しかし、人道支援におけるイノベーションの定義や目的については、必ずしも関係者の間に合意があるわけではありません。さらに、イノベーションの効果に関するエビデンスも限られています。これを踏まえて、このシンポジウムでは国連の人道支援機関によるイノベーション実践について学び、その可能性や課題を考えます。

2024.10.24 (木) 17:30-19:30

会場 上智大学四谷キャンパス2号館17階会議場 (定員120人)

および オンライン (Zoom・定員なし)

言語 日本語・英語 (Zoom視聴時のみ同時通訳あり) *

対象 学生・一般 (無料・要事前申込)

*通訳音声はZoom視聴時に限り利用できます。通信に係る通信料、機材等費用はすべて参加者のご負担となります。会場でスマートフォン等からZoom音声を聞く場合は必ずイヤフォンを持参してください。

国連デー スペシャルビデオメッセージ



アントニオ・グテーレス国連事務総長

根本 かおる 氏
国連広報センター所長

×

司会 植木 安弘 特任教授
上智大学国際協力人材育成センター所長



1. 事例報告 人道支援におけるイノベーション事例

2. パネルディスカッション 人道支援におけるイノベーション:なぜ必要か、誰のためか

オンライン登壇

Tala Budziszewski 氏
国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR)



オンライン登壇

大垣 友貴美 氏
国連世界食糧計画 (WFP)



会場登壇

Regina De Dominicis 氏
国連児童基金 (UNICEF)



モデレーター

小松 太郎 教授
上智大学総合人間科学部



オンライン参加は
こちらを
クリック

お申込は
こちら

対面参加は
こちらを
クリック